

オンライン授業ガイド（教師版）



STEP 1 教師の心構え

- 児童生徒と「つながる」ことを最優先にする。（児童生徒に安心感を与える）
- 教科書や既存の資料を活用する。（新たに教材を作成する負担を軽減）



STEP 2 配信準備

- 配信用端末：教師や黒板が見える位置（教卓や教室後方）に置く。
- カメラやマイク：端末内蔵のもので OK。
- 授業でつかうアプリ
 - ・学習支援：ロイロノート、スカイメニューなど
 - ・Web 会議：Google Meet、Teams、Zoom など



STEP 3 オンライン授業の進め方（例）

1 朝の会・健康観察

① 健康観察

児童生徒の顔色や表情を確認し、チャットやスタンプ機能等で体調を把握する。

② 予定の確認

プリントや画面共有等で、1日の予定や課題等を確認する。

2 授業配信と課題の提出

① 授業の配信

- ・教卓等に配信用端末を置き、Web 会議アプリを起動して配信する。
- ・画面越しでも伝わる話し方や板書を意識する。

② 課題の配信

- ・クラウドツール（Google Classroom / Teams / 学習支援ソフト等）の「課題機能」や「共有フォルダ」を活用する。
- ・学習活動についての指示を、短く具体的に記載する。
（例）「〇ページをノートに書き、写真を撮って提出してください」など。

③ 課題の提出

- ・ノートや成果物を端末のカメラで撮影し、フォルダに格納させたり、クラウドツールの「提出ボタン」から送信させたりする。
- ・共同編集ツールを活用し、児童生徒が入力した内容を共有できるようにする。

3 オンライン授業の終了

① 振り返りと連絡：1日の振り返りと、次の日の予定を確認する。

② 児童生徒への声かけ：ねぎらいの言葉をかけるとともに、体調等を確認して終了する。



STEP 4 トラブル等への対応



1 「画面が映らない」「声が聞こえない」

- ・Wi-Fi 接続や端末の音量を確認させる。
- ・一旦退出し、再接続させる。
- ・解決に時間を要する場合は、代替りの学習に切り替えさせる。



2 児童生徒の健康面への配慮

- ・体調や気分が優れない場合は、無理に参加させず、休ませる。
- ・適宜休憩をとり、目や体を休ませよう促す。

（声かけの例）

「接続できなくても大丈夫です。代わりに教科書〇ページを読んで、分かったことや考えたことをノートにまとめておいてください。」

（例）目を閉じたり、遠くの景色を眺めたりして目を休ませる。

ストレッチをして、体をほぐしたり、姿勢を整えたりする。